

## リモートシャック・PC リモート操作

JJ1SXA 池

現在、私のリモートシャックを使ってロールコールにチェックインしてもらおう場合、周波数が 50.240MHz に固定ということもあり、PC のリモート操作はやってもらっていません、また、PC のリモート操作ということになれば、私の PC の中身がそっくり見えるということもあり踏み切っていませんでした、そのせいかどうか分かりませんが、リモートシャックを良く理解できない状況もあるような気がします、スカイプの通話のみが一人歩きで、スカイプ経由という話になり、リモートシャックのゲストオペの実態が見えていないような気がします。

そんなこともあり、主に VoIP 関係のソフトを入れて運用しているサブの PC の方へリモートシャックのシステムを移し、こちらの PC なら、中身が見えても構わないので、実際に PC をリモートして、運用してもらえば、リモートシャックのシステムの理解がより深まるかと思ひ実施することにしました。

PC をリモート操作するソフトは数多くありますが、無料で使える「RIAL VNC」はハムの多くが使っており、私もこれをインストールして使っていますし、他にも色々あるのですが、今度、「TeamViewer」を使うことにしました(当然無料版)、このソフトは、ダウンロードするだけで、インストールの必要も無く、ダウンロードしてデスクトップにできたアイコンをクリックするだけで、直ぐ使えます(「VNC」のような設定も必要ありません)、また、パスワードはその都度ごとに、決められますので(画面に表示される)、覚える必要も無く、こんな所が気に入って、こちらを使うことにしました。

リモートシャックに使うリグは TS690S(ソフトは Ham Radio Delux)から TS2000(ソフトは ARCP2000)に変えて、慣れないと使い難い HRD から、実機のパネル画面と余り変わらない画面で操作しやすくしました、音声の伝達は、SKYPE でこちらは変わっていません、以前は、MIC ゲインを最小位置まで絞っても、PC の SP から TX の MIC への入力レベルが過大なので、中間に VR を入れて、片側マイクコネクタ、片側 3.5Φ プラグの自作ケーブルを使用して、入力レベルを VR で減衰させていましたが、今度このケーブルでは無く、PC と TX 間にインターフェースを挿入したので、VR での調整は無くなり、インターフェースのレベル調整ボタンの操作でうまくいきそうです、しかし、ARCP2000 には、PC の RTS 信号で TX の PTT を働かす機能が無いので、PC 画面上で「SEND」ボタンを押して送信です、ここまでは良かったが、現在この PC 不調(スカイプが安定して使えない)で頭を悩ませています、なにしろ、かなり古くて遅い(OS は XP にしたものの低スペック)、というわけで新システムでの運用は暫くお預け、PC の入れ替えには予算の目途が立たないな～…

本記事関連：<http://www.inv.co.jp/~ike/TS2000-remote.pdf>

(Feb,2010 記)